

感染症発生状況

平成30年8月22日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年8月13日（月）～8月17日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 99名

1日あたりの延べ欠席者数 19名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数73名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（32名）**，下痢・腹痛（24名），咳・鼻水（13名）嘔気・嘔吐（4名）

疾病ごと **とびひ（11名）**，手足口病（5名），おたふくかぜ（2名），リンゴ病（2名）

かぜ，胃腸炎はいつもと比較してわずかです。手足口病・とびひといった夏の病気が依然としてあります。盛岡の小児科は感染症が極端に少ないとのこと。

朝，夜が涼しく，日中高温（温度差が大きい）となると，喘息は多くなります。要注意です。

【症状別の発生状況】

とびひ 厨川，河北，盛南，河南地域で減少。都南地域で増加しました。

手足口病 厨川，河南，都南地域で減少。盛南地域で増加しました。

おたふくかぜ 河北地域で増加しました。

胃腸炎 玉山，厨川，河北，盛南地域で減少しました。

リンゴ病 都南地域で増加しました。

【県の状況（8/6～8/12）】

ヘルパンギーナは5週続けて増加し，久慈地区で警報値（定点あたり患者数6人）を超えました。発熱と口の中に現れる水疱性発疹を主症状とするウイルス感染症で，岩手県においては，例年9月上旬まで報告数の多い状況が続くので注意が必要です。予防には，患者との濃厚接触を避けること，手洗いやうがいを十分に行うことが重要です。

RSウイルス感染症は，中部及び奥州地区で報告数が多くなっています。乳幼児は重症化しやすいので注意が必要です。咳エチケットや手洗いによる予防が重要です。

夏休みが終わり，学校等で集団生活が再開されると感染症が流行する可能性が高くなります。手洗いをはじめとした基本的な予防対策が重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】